

# 調布市内のいきものつながり (生物多様性)

## 生物多様性調査生物確認種数

植物 621

鳥類 41

昆虫 419

魚類 26

参考文献：生物多様性調査業務報告書 調布市 平成24年3月

調布市では、平成23年度に調布市内に生息しているいきものを把握することを目的として、生物多様性調査が行われました。調査は、多摩川、入間樹林、深大寺・佐須地域の3カ所で行い、植物621種、鳥類41種、昆虫419種、魚類26種のいきものを確認しました。

深大寺・佐須地域生物確認種数

植物 478

鳥類 11

昆虫 211

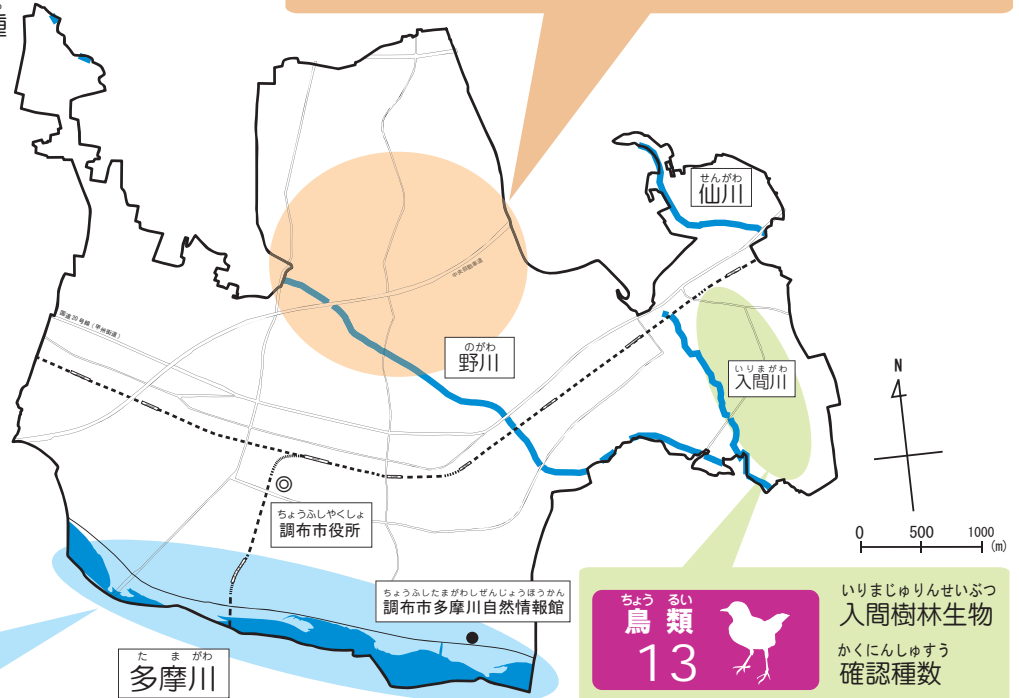
## 多摩川生物確認種数

植物 299

鳥類 30

昆虫 301

魚類 26



## 生物多様性ってなに？

地球上には、わかっているだけでも175万種のいきものがあります。いきものたちは、山や川や海などいろいろなところで暮らしています。このいきもの多様な暮らしが生態系です。このようないろいろないきものがいたり、いきものが暮らす自然がたくさんあることを生物多様性といいます。



文章引用：子ども環境白書 2012 環境省 平成23年12月

## 調査で確認された注目すべき種

項目	種名	計
植物	ウキヤガラ、カワチシャ、カワラサイコ、キンラン、キツネノカミソリ、ササバギンラン、ササバモ、セキショウモ、ナガエミクリ、ニガカシュウ、ホソイ、マコモ、マヤラン、ミクリ、ミズハコベ	15
鳥類	イソシギ、ウグイス、オオヨシキリ、カイツブリ、カワセミ、コアジサシ、コサギ、セグロセキレイ、ダイサギ、トビ、バン、ヒバリ	12
昆虫類	カワラバッタ、キノウエトタテグモ、ギンイチモンジセセリ、コハンミョウ、ショウリョウバッタモドキ、セスジイトトンボ、ハグロトンボ	7
魚類	アブラハヤ、オヤニラミ、カマツカ、ギバチ、ジュスカケハゼ、シマドジョウ、スゴモロコ、ナマス、ニゴイ、ヌマチチブ、マルタ、メダカ	12

☆注目すべき種とは？  
 国（環境省）や都道府県、区市町村などによって”絶滅のおそれのある生物”に選ばれている種のことです。  
 ※環境省では、絶滅のおそれのある種を的確に把握し、一般への理解を広める必要があることから「日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト 環境省 平成24年」を発行しています。

## 調査で確認された特定外来生物

項目	種名	計
植物	アレチウリ、オオフサモ、オオカワチシャ、オオキンケイギク	4
鳥類	—	0
昆虫類	—	0
魚類	コクチバス	1



☆特定外来生物とは？  
 外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されます。生きているものに限られ、個体だけではなく、卵、種子、器官なども含まれます。

文章引用：外来生物法ホームページ 環境省 より

# 調布市内のいきもの①

調布市内には、いろいろないきものが生息しています。

## 植物

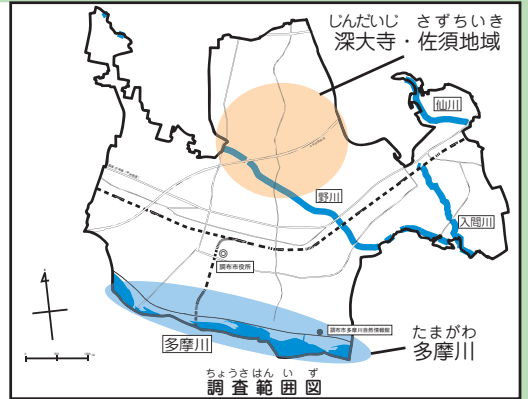
### 確認した植物

調査地点	春季(6月)	夏季(8月)	秋季(10月)	計	合計
多摩川	56科182種	64科221種		72科280種	130科621種
深大寺	105科349種	82科198種		115科419種	
佐須地域	23科33種	76科204種		81科226種	
月別イベント	28科64種(4月)	25科54種(6月)	21科54種	42科127種	

※月別イベント…調布市多摩川自然情報誌が開催する市民参加調査

平成23年度の  
**621種**の植物を確認しました！

多摩川では280種、深大寺では419種、佐須地域では226種の植物を確認しました。そのなかで、注目すべき種は、多摩川で9種、深大寺・佐須地域で8種の計15種（ウキヤガラ、カワチシャ、カワラサイコ、キンラン、キツネノカミソリ、ササバギンラン、ササバモ、セキショウモ、ナガエミクリ、ニガカシュウ、ホソイ、マコモ、マヤラン、ミクリ、ミスハコベ）が確認されています。また、特定外来生物であるアレチウリ、オオフサモ、オオカワヂシャ、オオキンケイギクの4種を確認しました。

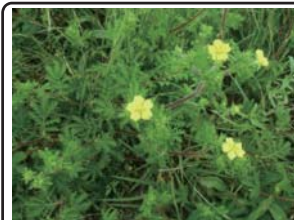


そのほかにも、



などの植物を確認しました。

### 注目すべき種



**カワラサイコ**（バラ科）  
分布は本州、四国、九州  
日当たりの良い河原や砂地に生える多年草。  
花期は6～8月。  
東京都RDB(北多摩)：絶滅危惧Ⅱ類



**カワチシャ**（ゴマノハグサ科）  
分布は本州、四国、九州、沖縄  
田のあぜや川岸、溝のふちなど、湿ったところに生える高さ10～50cmの2年草。花期は5～6月。  
環境省RL：準絶滅危惧



**マヤラン**（ラン科）  
分布は本州（関東地方南部以西）、四国、九州、沖縄。  
常緑林内に生える腐生の多年草。花期は7～8月。  
東京都RDB：絶滅危惧Ⅱ類

## 鳥類

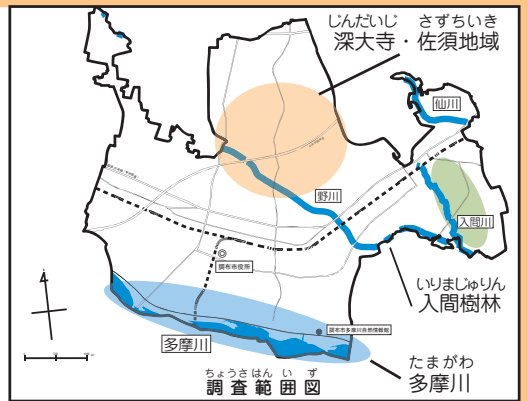
### 確認した鳥類

調査地点	春季(6月)	夏季(8月)	冬季(2月)	計	合計
多摩川	12科23種	15科19種	10科18種	19科28種	26科41種
深大寺	3科4種	4科5種	9科10種	11科11種	
入間樹林	7科8種	5科6種	9科10種	13科13種	
月別イベント	11科13種			11科13種	

※月別イベント…調布市多摩川自然情報誌が開催する市民参加調査

平成23年度の  
**41種**の鳥類を確認しました！

多摩川では28種、深大寺では11種、入間樹林では13種の鳥類を確認しました。そのなかで、注目すべき種は、多摩川11種、深大寺1種、入間樹林1種の計12種（イソシギ、ウグイス、オオヨシキリ、カイツブリ、カワセミ、コアジサシ、コサギ、セグロセキレイ、ダイサギ、トビ、バン、ヒバリ）を確認しました。



そのほかにも、



などの鳥類を確認しました。

### 注目すべき種



**カワセミ**（カワセミ科）  
生息地は山地～平地の川・池・湖など。  
全長：約17cm  
背中はコバルト色、お腹は橙色の美しい小鳥。稚魚、カエルなどを食べる。  
東京都RDB(北多摩)：準絶滅危惧Ⅱ類  
写真提供：水元 伸二氏



**コアジサシ**（カモメ科）  
生息地は河川の中州、河岸の砂洲地など。  
全長：約28cm  
嘴は黄色く先端が黒い。産卵期は4～7月。小魚を捕らえて食べる。  
環境省RL：絶滅危惧Ⅱ類  
東京都RDB(北多摩)：絶滅危惧ⅠA類  
写真提供：水元 伸二氏



**ウグイス**（ウグイス科）  
生息地は低地から山地まで。繁殖期は林のしじら下生えにササが密生しているところに生息。  
全長：オス約16cm、メス約13cm  
ホーホケキョと鳴き、春を告げる数の小鳥。葉にとまる昆虫などを食べる。  
東京都RDB(北多摩)：準絶滅危惧Ⅱ類  
写真提供：水元 伸二氏

# 調布市内のいきもの②

調布市内には、いろいろないきものが生息しています。

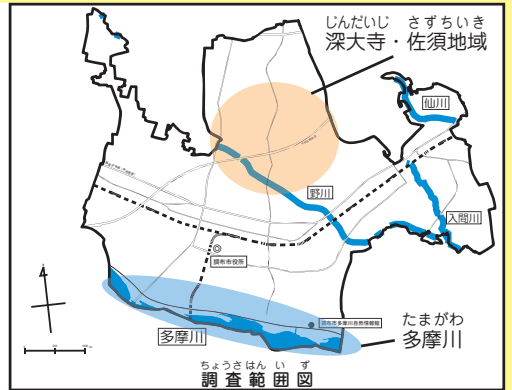
## 昆虫

### 確認した昆虫

調査地点	夏季(8月)	合計
多摩川	121科301種	148科419種
深大寺	103科211種	
月別イベント	20科47種	



シオカラトンボ (オス)



調査範囲図

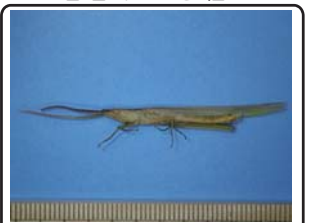
平成23年度の調査では、**419種**の昆虫を確認しました！

多摩川では301種、深大寺では211種の昆虫を確認しました。そのなかで、注目すべき種は、多摩川で6種、深大寺で3種の計7種(カワラバッタ、キノウエタテグモ、ギンイチモンジセリ、コハンミョウ、ショウリョウバッタモドキ、セスジイトトンボ、ハグロトンボ)を確認しました。

### 注目すべき種



**セスジイトトンボ (イトトンボ科)**  
分布は北日本ではかなり局限され、それ以外の地では平地や丘陵地の植生の豊かな池や沼、灌漑用の溝川などに生息。成虫は本州中部では5月初旬ごろ～9月末まで見られる。  
東京都RDB(北多摩)：絶滅危惧IA類



**ショウリョウバッタモドキ (バッタ科)**  
本州以南に分布。成虫が見られる時期は7月～11月。ススキやアシなどの生えているところに多く見られ、乾燥したところにはいない。イネ科の植物を食べる。  
東京都RDB(北多摩)：絶滅危惧II類



**カワラバッタ (バッタ科)**  
全国に分布。成虫が見られる時期は7月～10月。生息地は河原の石ころの間。主にイネ科植物の葉を食べる。  
東京都RDB(北多摩)：絶滅危惧IA類

### そのほかにも、



などの昆虫を確認しました。

東京都RDB…東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) — 2010年版 — 東京都 平成22年3月 環境省RL…日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト 環境省 平成24年 引文献：生物多様性調査業務報告書 調布市 平成24年3月、原色日本昆虫生態図鑑Ⅱトンボ編 石田昇三 1969 ヤマキイボクットガイド 10 野山の昆虫 今泉光彦 1999 写真提供：水元 伸二 氏(シオカラトンボ)

## 魚類

### 確認した魚類

調査地点	春季(6月)	夏季(8月)	秋季(10月)	冬季(2月)	合計
多摩川	5科13種	5科14種	5科16種	4科10種	9科26種
月別イベント		8科15種			

※月別イベント…調布市多摩川自然情報館が開催する市民参加調査

平成23年度の調査では、**26種**の魚類を確認しました。

多摩川では、注目すべき種を計12種(アブラハヤ、オヤニラミ、カマツカ、ギバチ、ジュスカケハゼ、シマドジョウ、スゴモロコ、ナマズ、ニゴイ、ヌマチチブ、マルタ、メダカ)確認しました。また、特定外来生物はコクチバスが1種を確認しました。

### 注目すべき種



**メダカ (メダカ科)**  
全長約40mm。河川下流にある水たまり、水田とその小水路、浅い池や沼など、止水域に広く生息する。高温、低温、塩分、水質汚濁などに比較的強い。  
産卵期は4月上旬～10月上旬。産卵場所は藻や水草である。  
東京都RDB(北多摩)：絶滅危惧I類



**ギバチ (ギギ科)**  
全長約120～250mm。水のきれいな河川の上流下流から中流域にかけて生息する。稚魚は半底生浮遊動物や小型の底生動物を食べる。成魚は水生昆虫やエビ、小魚を食べる。  
産卵期は東京付近では6～7月。環境省RL：絶滅危惧II類  
東京都RDB(北多摩)：絶滅危惧II類



**シマドジョウ (ドジョウ科)**  
全長約60～150mm。水の澄んだ河川、湖にすみ、砂底を好む。池や湖では沿岸の砂底なし、砂底に生息する。  
6本の口ひげを持つ。成魚は底生藻類、半分解物、小型水生昆虫などを食べる。  
産卵期は4月下旬～6月下旬。  
東京都RDB(北多摩)：絶滅危惧II類

### そのほかにも、



などの魚類を確認しました。

東京都RDB…東京都の保護上重要な野生生物種(本土部) — 2010年版 — 東京都 平成22年3月 環境省RL…日本の絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト 環境省 平成19年 引文献：生物多様性調査業務報告書 調布市 平成24年3月、奥田聖哉・柴田昭徳ほか監修 川の生物図典 山海堂 1996 より作成